



中国株ウィークリーレポート

2019/6/3

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	24,815.04	-354.84	-1.41	-3.01	6.38	23,327.46
NASDAQ	7,453.15	-114.57	-1.51	-2.41	12.33	6,635.28
日経225	20,601.19	-341.34	-1.63	-2.44	2.93	20,014.77
上海総合	2,898.70	-7.11	-0.24	1.60	16.23	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,629.79	-11.39	-0.31	1.00	20.56	3,010.65
ハンセン	26,901.09	-213.79	-0.79	-1.66	4.08	25,845.70
中国企業	10,387.17	-62.92	-0.60	-0.56	2.59	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.7%安と4週続落、上海総合指数は1.6%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.7%安と4週続落。米中対立が激化する中、中国がレアアースの対米輸出を制限するとの観測が浮上したほか、トランプ米大統領がメキシコからの全輸入品に5%の制裁関税を課すと発表。世界経済への悪影響が警戒され、リスク回避の動きが続いた。本土市場では上海総合指数が週間で1.6%高と6週ぶりに反発した。弱い経済指標の発表で景気対策への期待が高まったほか、MSCIのA株組み入れ比率引き上げによる資金流入期待も相場を押し上げ要因となった。

今週の展望:香港市場は下値模索の展開か、協議行き詰まり米中対立が一段と激化

香港市場は下値模索の展開か。ファーウェイへの制裁で米中対立が一段と激化する中、今週も米中対立を巡って新たな悪材料が出てくる公算が大きく、リスク回避の動きが続きそうだ。中国側がレアアース規制など対抗措置を発表すれば対立の一段の激化は避けられない。一方、本土市場は下値圏で神経質な展開か。米中対立を巡るマイナス材料と中国政府による景気対策や株価対策への期待で動きにくく、綱引き相場となりそうだ。7日が端午節で香港・本土とも休場となるため、週末にかけてはリスク回避の売りも予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬 (01177)	7.91	7.47
2 中国平安保険 (02318)	86.60	3.34
3 吉利汽車 (00175)	12.86	3.21
4 銀河娛樂 (00027)	47.40	0.85
5 華潤置地 (01109)	31.90	0.79
6 香港証券取引所 (00388)	249.40	0.56
7 太古A (00019)	92.80	0.49
8 碧桂園 (02007)	10.60	0.38
9 テンセント (00700)	326.00	0.37
10 中国人寿保険 (02628)	18.20	0.11

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 恒基兆業地産 (00012)	40.50	-8.62
2 新鴻基地産 (00016)	124.10	-7.80
3 シハック (00386)	5.22	-7.12
4 チャイ・モバイル (00941)	68.45	-6.74
5 恒隆地産 (00101)	16.50	-6.57
6 九龍倉置業地産 (01997)	53.55	-5.39
7 恒安国際集団 (01044)	57.50	-5.12
8 新世界発展 (00017)	11.56	-4.78
9 万洲国際 (00288)	7.06	-4.59
10 中国旺旺 (00151)	5.59	-3.95

▼今週の主なイベント

- 6月3日(月)
- 【米国】ISM製造業景気指数(5月)
- 6月7日(金)
- 【中国】端午節で休場
- 【香港】端午節で休場
- 【米国】雇用統計(5月)

▼今週の期待材料

- ◆製造業 PMI など足元で中国の経済指標が悪化、中国政府による景気対策への期待が高まる公算
- ◆FRBのクラリダ副議長が利下げの可能性を示唆、9月に利下げが実施される確率が約7割に上昇
- ◆香港住宅価格指標 CCL が過去最高値を更新、5月31日発表の最新値は前週比0.42%高の189.42ポイント

▼今週の懸念材料

- ◆中国政府が米中協議に関する白書を発表、原則的問題では決して譲歩しないとの姿勢を強調
- ◆米中対立を巡り中国政府が対抗措置を準備、レアアースの輸出規制を発表すれば対立は一段と激化へ
- ◆米中対立激化で人民元安が進行、中国からの資金流出が加速すれば金融緩和を打ち出しにくくなる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 新鴻基地産 (00016) : 香港の住宅価格指標が過去最高値を更新、不動産事業に追い風
- ☆ 馬鞍山鋼鉄 (00323) : 親会社が再編を発表、宝武鋼鉄が親会社の馬鋼集団を買収
- ☆ チャイナ・レアアース (00769) : 中国政府がレアアースの対米輸出制限を検討
- ☆ サンズ・チャイナ (01928) : マカオのカジノ収入が5月にプラス成長を回復
- ☆ 周大福珠寶 (01929) : 6日に19年3月本決算を発表、市場予想は9%増益
- ☆ 首創置業 (02868) : 5月の不動産販売額が26%増加、販売面積は10%増
- ◇ 東方証券 (03958) : 東方花旗証券を完全子会社化、シティとの合併解消
- ★ 中国国際航空 (00753) : 貿易摩擦激化で元安が進行、為替差損が業績の重しに
- ★ 銀基集団 (00886) : 19年3月本決算は赤字継続の見通し、コスト増が響く
- ★ 安踏体育用品 (02020) : 空売りファンド創業者が売り推奨、会社側は指摘内容に反論

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。